

教育後援会の皆様。いつも本校の教育にご協力いただき、誠に感謝いたします。ここ1,2年はコロナ禍の中で何とか教育を実施している状況ですが、皆様のご協力により、無事進めることができています。ありがとうございます。

今年度教育後援会からの補助で購入させていただいた物は担架になります。実は4月にてんかんで生徒が倒れました。学校には保健室前にしか担架がなく、3号館の保健室から4号館の3R棟まで

運ぶのに時間がかかりました。また、以前教育後援会で購入いただいたレスキューセットの中にも担架機能があるのですが、



収納状態

展開したところ

けが人をおんぶして運ぶときの補助になるような物で、生徒を平に運ぶ物ではありませんでした。このようなことから、今後のことを考え、各建物に担架があった方が良くということになり、今回3セット購入させていただきました。幸いその後、担架を使うようなことにはなっていませんが、そのようなことが起きても対応できる体制ができたと考えております。皆様のご援助のおかげと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



4号館設置

1号館設置

2号館設置

皆様のご協力により…

教育後援会会長 伊本 淳平

今まで後援会を通して保護者の皆様などからお預かりした助成金やバザーの売り上げから、学校に納められた数々の品々です。皆様のご協力で、生徒の皆さんが安全で充実した学校生活を送るために必要な物品が揃えられます。



2005年 AED

2008年度「音楽室 グランドピアノ」



2011年度「車いす」

2017年度「HR教室の扇風機」

- 2005年 AED
- 2007年度「本館2階212教室前方にスクリーン設置」
- 2008年度「音楽室 グランドピアノ」
- 2008年度「光学式マークシートリーダー(OMR)」
- 2011年度「車いす」
- 2014年度「スーパーレスキューセット」
- 2015年度「製氷機」
- 2017年度「HR教室の扇風機」
- 2018年度「3年生課題研究英文アブストラクト」
- 2019年度「放送設備」
- 2020年度「陸上競技部女子更衣室の改修」



デジタルプログラムチャイム

2019年度「放送設備」

教育後援会だより第23号 令和4年3月3日発行

東工大附属高校教育後援会 発行人 伊本 淳平
 HP tokodaihuzoku-koenkai.com
 制作・印刷 株)あおむし http://www.aomushi.com

教育後援会だより

第23号

2022年
3月3日発行

リモートでは出来ない、高校生活の時間を大切に

教育後援会会長 伊本 淳平



生徒の皆様、保護者の皆様におかれましては、いつも教育後援会の活動にご理解と多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

詳細は5月の総会資料にてご報告致しますが、令和3年度に於きましても、皆様より多大な額の助成金を頂く事ができ全額高校に納入致しました。これもひとえに教育後援会会員の皆さん含めた皆様のご協力のおかげであり、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの新規感染者数も一時期より減少し(原稿執筆令和4年1月当時) イベントや集会、店舗の営業など徐々に緩和されつつありますが、新たなオミクロン株の感染者数も増えており予断を許さない状況です。

そんな中昨年末、地元の市から委嘱されている青少年指導員の役員会に久々に出席してきました。とは言えここ2年間はコロナ禍の影響で例年行っている小学校の子供フェスティバル(陶芸教室、ペットボトルロケット作成などのイベント) やスポーツレクレーション、公民館主催の夏の盆踊りなどの行事は一切行えず、年明け以降の活動についてもコロナ禍の状況によって判断するしか無いといった結論に至るに話しが纏まったのみでした。

青少年指導員はバラバラの職業のメンバーによって構成され、私が所属する地区では会長が住職で、別地区の小学校の校長先生が副会長を勤めています。メンバー間での接点は普段無く携帯電話のメールで連絡を取り合っていますが、込み入った話をする際は直接集まって話し合いをする必要があります。

今回の議題についてはメールのやりとりでは限界があり、全員集まった上で副会長に、小学校の現状のコロナ対策について伺いました。すると、マスク着用・うがい手洗いの徹底、パーティションの設置など通常の対策に加え、楽器などの共有物を触る際の手洗いの励行と事後の消毒、調理実習時の生徒同士の座席移動禁止、授業参観における居住地域毎のグループ分けとそれらを時差開催することによるクラスター・拡散防止など、様々な厳しい管理を行った上で生徒達に出来るだけ通常の授業環境を提供しているとお話しを伺うことが出来ました。

学校側で毎日これ程の対策・管理を行って何とか生徒さんの日常を確保しているという現状を伺い、改めて先生方の苦勞に改めて頭が下がる思いをしたと同時に、たった一日のイベント開催での感染対策不備により、万が一クラスターが発生すれば全校消毒と言う最悪の結果を招くという現実も再認識しました。もしそうなれば数日間の学校閉鎖は免れず、先生方の努力を水泡に帰させ

るといった本末転倒な結果となるため、残念ながら引き続き当面小学校敷地内でのイベント開催は見送ることとしました。

一方、本校に於いても、先生方の様々な努力や厳重な感染対策の結果、日常の授業を実施する事が出来ているのだと思います。特にモノ作りに関しては手を触れないと出来ない、また目の前のモノや課題を前にして仲間同士で議論するといったチームプレイも大切で、リモートでは絶対出来ない事が数多くありますし、それ故に普通校では無い独自の対策も必要かと思えます。

今生徒の皆さんが学校で授業を受け、部活や趣味の時間も共有できているのは、こうした先生方学校関係者の皆様のご苦勞の上に成り立っています。ここで生徒の皆さんには、常に先生方への感謝の念を抱いて頂くのと同時にもう一歩先を見据えて過ごして欲しいと思います。

恐らく数年後に生徒の皆さんが社会に出る時にも、仕事や会議の大部分はリモートが主流となっているでしょう。そこでは引き続き新しい働き方が当たり前になり、いろいろなツールを駆使してリモートで出来る事は可能な限り効率化を目指し、一方で実際に入社しなければ出来ないことも、徹底的な事前準備により短時間で高品質の成果を得る事が要求されます。現在、先生方が講じている様々な対策には、将来皆さんが別の場所で遂行すべきミッションの手本やヒントがあるかもしれないという意識を持ちながら、貴重な学校での時間を大切に過ごして欲しいと思います。

令和3年度を振り返りますと、昨年度に続き生徒・保護者の皆様、先生方・学校関係の皆様は受験を含め、授業の実施や各種行事へのご対応に大変ご苦勞なされたかと思えますが、後援会にとっても引き続き我慢の年でした。文化祭の恒例のバザーも取り止め、家庭科室での三密を避けるためにお料理教室も取り止めました。

唯一、庭園見学会は密集を避けた形で開催することができ、参加者の皆様には久しぶりのイベントを楽しんで頂きました。役員会も役員全員が集合して開催することはできませんでしたが、仲道先生、鈴木先生、今田先生たちのご尽力・ご厚意により学校のPCやネットワークを利用して頂き、リモート環境と併用で開催することが出来ました。

今しばらくこうした形態が続くと思いますが、学校側の対策方針に準拠しながら少しずつコロナ禍以前の活動に戻せればと思っております。引き続き教育後援会へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

